

**令和4年度**  
**第3回 北広島市旧島松駅通所整備検討委員会 議事録概要**

日 時 令和5年 2月28日（火）午後1時30分～午後2時30分

場 所 北広島市広葉交流センター2階 研修室

- ◎出席者
- 委員長、副委員長、委員  
角 幸博、藤井 浩、平井 卓郎、圓谷 昂史、細川 健裕、鹿内 洋一
  - オブザーバー  
北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課 主任：内田 和典（WEB参加）  
北広島市建設部建築課長           ： 吉岡 亮  
北広島市経済部観光振興課長       ： 橋本 征紀  
北広島市建設部建築課 主査： 真田 朋幸、技師：石川 栞佑香
  - 事務局  
エコミュージアムセンター長：渡邊 篤広 参事：丸毛 直樹、主査：青木 潤  
主査（学芸員）：畠 誠、主任（任期付き学芸員）：黒田 弘子
  - 委託業者  
北電総合設計株式会社 宮越、大日向
  - アドバイザー  
株式会社文化財保存計画協会（WEB参加）

1 開 会

2 座長あいさつ

3 議事

【報告】

（1）令和4年度 第2回 北広島市旧島松駅通所整備検討委員の議事概要 資料-1

【議案】

（1）史跡旧島松駅通所主屋耐震補強・保存修理基本設計書（案）について 資料-2

4 その他

5 閉会

事務局より 資料-1・資料-2 を説明。

【資料1について】

- ・委員：道産材について訂正ですが、青森産と混合とあるが、そうではなく北海道の材を青森で加工し全国へ供給しているのが流通上のことである。
- ・委員長：委員のメール内容に、事務局としてはどのような考えなのか。
- ・事務局：これまでの保存活用計画・整備基本計画において検討委員の皆様には、議論してきていると考えております。これまで確認してきている本質的価値においての考え方で委員のご意見は、ある程度網羅されているものと考えております。を今後どのように反映できるのかを実施設計において整理していきたい。

【資料2について】

- ・委員長：P46の小屋裏の見せ方について、カメラの稼働範囲、対象物以外を見ることができると、見たいではなく動かしたいだけになることが気になるがどうなのか。
- ・事務局：見ることができない場所を見れる「楽しさ」と操作する「楽しさ」を重視している。見てほしい箇所は、ポイントして示したい。
- ・委員：制御可能な設定や一定の時間が来たら定点に戻るような機能付きのものを検討してはどうか。
- ・委員長：それも含めて、見てほしいところだけにするのか自由に動かせるものにするのかは、実施設計で議論するとよい。
- ・委員：ほかの委員が以前話をされていた「駅通所」という場所について、駅通所エリアのところでは、空間的・視覚的にもう少しわかりやすくされるといいのではないかと。また、小屋裏の見せ方だが、文字化ではなく3D情報を映像として取り込んでおくと何かあった場合、補修しやすいと思う。
- ・委員長：P42の展示ケースの防犯対象について、一人で容易に開閉できるとあるが、重要文化財となるものは、しっかり防犯してもらいたい。
- ・事務局：鍵付きを採用する方向で考えています。
- ・委員：小学生向けの説明・ガイドは、どう考えているのか。
- ・委員長：実施設計のソフト面になると思うが、小学生向けがあるといいのかもしれない。パンフ・リーフレットなどは、実施設計で検討するとよい。
- ・事務局：ガイドについては、これまでも色いような年齢層に合わせてガイドのできる管理人で対応している。
- ・委員：展示ケースの新規購入をする際は、ケースの枯らしの期間を設け、ガスの発生による資料の影響を防げるように対策をこうじたほうが良いと思う。

- ・委員 長：貴重なご意見ありがとうございます。
- ・委員 員：P37展示について、なるべく説明を少なくすること、そして作りこむことはあまりしない方が良くと思う。チェックポイントのように、情報量を後で変えられるようにして、簡単で分かりやすくする事や大人が見るのはこちらと子供が見るのはこちらのようにすると、後で変更も自由に行けると思う。防犯カメラですが、設置台数を考えるべきと思う。
- ・委員 長：文化財を守るためにも、防犯は、実施設計においてしっかり考えていただきたい。展示パネルなどについて、説明の補足は、ガイドブックなどを検討すると良いと思う。
- ・委員 員：自身の機関で感じるのですが、最近の学校の学習指導要綱では、道具の名前を調べよう、聞いてみようからどうしてこの道具を使うのかな?など自ら考えて調べてみよう、文化財保護を学ぶというように変化をしてくれている。映像や写真で残すとよい。
- ・委員 長：貴重なご意見ありがとうございます。